

# あすなるクラブ 50周年

## 式典で発展へ決意新た

### 異業種交流組織の先駆け



「釧路の立派なヒノキになろう」とあいさつする齊藤会長

釧路、根室地方の異業種交流組織の先駆けとして知られる経済研修団体「釧路あすなるクラブ」は18日、釧路キャッスルホテルで創立50周年の記念式典と祝賀会を開き、集まった会員らが歴史の重みを再認識するとともに今後の活動に向け、決意を新たにしました。また、式典に先立ち記念講演会も開かれた。

(道永竜命)

釧路あすなるクラブは釧路地域の第一線で活躍する経済人が集う団体として1962年2月、19人の有志によって創設された。「郷土を愛し仕事に徹し 人と和す」を信条に、時流に合ったテーマを定め毎月例会を実施。市内の有力経済人や行政のトップらを講師に招き、研修を重ねて

いる。

18日の記念式典には現在の会員のほか、OBも出席。式典であいさつに立った齊藤政行第50期会長は「あすはヒノキになろう」と思い活動を続けてきた。今こそ会員一人一人が底力を発揮し、釧路の立派なヒノキになるべく進みたい」と語り、同会員で式典実行委員長の伊東良孝衆院議

員は「50年の中では後々市政

に生かされるなど、素晴らしい実績を重ねてきた。これからもこの地域の活性化に寄与できれば」と述べた。また、来賓として駆け付けた蝦名大也釧路市長も祝辞を寄せた。

式典では永年在籍会員に表彰状が手渡されたほか、チャーターメンバーの今田英三氏に対する特別表彰が実施され

た。

今田氏は「50年は一つの節目だが、永遠に研修し発展することを希望したい」と話した。

○：式典に先立ち行われた記念講演会では、講師として招かれた北海道開発局港湾空港部長の栗田悟氏(57)が、東北海道の港湾や空港の役割について語った。

栗田氏は1979年東北大学大学院修了後、運輸省港湾局採用。以降港湾畑一筋で、2010年5月から現職。栗田氏は講演で、国際バルク戦略港湾について触れ「釧路港の計画は他港に比べはるかに実現性が高い。予算は残念だったが、もう一度具体的に詰めていきたい」と述べた。